

CONNECTEC JAPAN®

コネクテックジャパン株式会社

- 資本金：1億円
- 設立：2009年11月2日
- 従業員数：31名(2022年6月1日現在)
- 本社所在地：〒944-0020
新潟県妙高市工団町3-1
- 事業内容：半導体チップ、MEMSチップ、
基板実装、モジュールの原理試
作・プロトタイプ試作、評価・
解析、信頼性評価、量産までを
総合的にサポート
- URL：<https://www.connectec-japan.com/>

当社は、成長拡大するIoT市場において、世界初半導体実装技術を武器に新たな雇用創出、地域発展に寄与せんことを期し、2009年に創業した。あらゆる基板にLSI、センサーなど各種半導体チップを実装することによりIoTは具現化するが、高温260℃、高圧力200Nを必要とする従来のはんだ実装では、熱・圧力に弱い半導体チップ、熱・圧力に弱い基板(PET・ポリウレタン等)への実装は困難であり、IoT拡大普及を阻む要因となっている。当社は、これらの実装課題を克服する、世界初極低温80℃、極低荷重10N実装「MONSTER PAC®」技術を有し、どんなところにも半導体実装を具現化し、IoTセット付加価値向上に貢献している。



MONSTER DTF® (Desk Top Factory) 導入による削減効果



低温接合「MONSTER PAC®」技術によりPETやPUフィルムへの実装が可能に

「OSRDA」を展開している。IoT市場でさらなる雇用創出、地域発展に貢献できるよう努力していく。

また、従来の実装技術は34工程、100×200mmの巨大なクリーンルームが必要なのに対し、当社技術では3工程に大幅短縮ができ、約3mの作業机に載る超小型製造ライン「MONSTER DTF® (Desk Top Factory)」を実現した。CO₂排出量を従来比1000分の1に極小化し、2019年度もづくり日本大賞経済産業大臣賞を受賞した。これら新プロセス技術をコアに、優れた技術を有する全国200社を超えるパートナー企業様と「コネクテック」し、具現化する世界初ビジネスモデル

MESSAGE

希望は過去にあり、
戦う理由は未来にある

社長

平田勝則
ひらた かつのり



当社は、成長性の高いIoT市場において、イノベーション技術によって、新たな雇用創出、地域発展への貢献を目指し創業いたしました。ヒト、モノ、カネを失った戦後復興期の過酷な状況でも、必死に未来を築く戦いで高度経済成長に導いた、全産業の先人の高邁な志を受け継ぎ、「変える力とつなぐ力」でIoT実装に革命を」との思いで、事業に取り組んでいます。

我々の取り組みは、経団連がかかげる、誰もが、いつでもどこからでも、機会を得て価値を創造していける「Society 5.0」を支えるものと確信しています。

経団連会員の皆さまとともに経済界の活性、地域経済の発展の一翼を担えるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。